MURAOKA タイヤチェーン

取扱説明書

一般社団法人日本建設機械施工協会加盟

当社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。

チェーン装着前に必ずお読みください。

タイヤチェーンは消耗品です。正しい装着により安全走行の確保ができ、チェーンの寿命にも大きく影響します。この取扱説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の正しい取扱い方を示していますので、将来いつでも使えるように大切に保管してください。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく装着し、ご使用ください。

※製品の間違った取扱いや取り付け方等に起因する傷害や損害については責任を負いかねます。

装着する前には

※チェーンはタイヤサイズにあったものをご使用ください。

①同タイヤサイズであってもタイヤメーカー・形状・銘柄(冬用タイヤなど)によって、大きさが異なっている場合があります。**購入後に必ず装着を試みてください。〔警告①〕**装着は『装着方法』の手順に従って取り付けてください。
②チェーンを装着する場所や周囲の安全を確認しましょう。(他の走行車や路面の傾斜度などに注意しましょう。)
③チェーンを扱いやすくし、手を保護するために、必ず手袋などを用意しておきましょう。**〔注意①〕**
④チェーン装着以外のタイヤには、必ず車輪止めをしましょう。

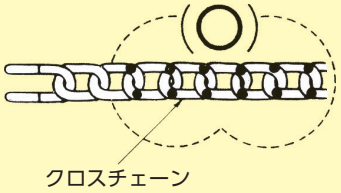
こんなとき、チェーンは激しく磨耗し、切断する危険があります。

- **正しく装着されていない場合。**
- **高速走行・急発進・急加速・急ハンドル・急ブレーキをした場合。〔警告⑦〕**
- **装着したまま、雪路・凍結路・ぬかるみ以外を走行した場合。〔注意④〕**

〈走行中の磨耗・切断に備えてスペアのタイヤチェーン又は補修用クロスチェーンをご用意ください。〉

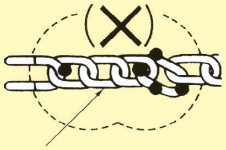
チェーンの磨耗状態

◎正しく装着した場合は、クロスチェーンの右図の●印の部分が平均して磨耗します。



クロスチェーン

◎正しく装着されなかった場合は、右図の●印のように偏って磨耗します。



クロスチェーン

⚠ 警告

誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

①**タイヤチェーンのサイズに適用しないタイヤチェーンは絶対に使用しないでください。**連結の不備、ゆるみが発生し、事故の原因となります。必ず装着するタイヤサイズを確認してから、容器に記載されている適用サイズと合っているか確認してください。
②**タイヤチェーンを本来の目的(タイヤの滑り止め)以外に絶対に使用しないでください。**他の目的(牽引、つり下げ等々)に使用すると切断し、事故の原因となります。
③**タイヤチェーンを改造しないでください。**ゆるみ、切断が発生し事故の原因となります。
④**走行中に異常な音なり、振動、衝撃などを感じたときは、速やかに車両を止め、ゆるみ、切断の有無を確かめてください。**
そのまま走行すると、事故の原因となります。
⑤**クロスチェーン(路面に接触しているリンク)が線径の1/3以上擦り減った(使用限度)ときは、使用をやめてください。**
また、クロスチェーンの両面使用は絶対にやめてください。チェーンが切断し、事故の原因となります。
⑥**タイヤチェーンを装着しているときは、30km/h以下で走行してください。**30km/hを超えて走行しますとハンドルを取られたり、制動が利かなくなったり、ゆるみが発生したりして、事故の原因となります。
⑦**タイヤチェーンを装着しているときは、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなどは危険ですからやめてください。**
駆動輪の空回り、制動不能、横滑り、ハンドル操作不能などが発生し事故の原因になります。

⚠ 注意

誤った取扱いをすると人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。

①取扱いには、手袋をご用意ください。
車両の**フェンダー**への接触、タイヤチェーンの連結時の手の滑りなどで、思わぬ傷害の原因となります。
②装着後、余ったサイドリンクは必ず切り取るか針金で固定してください。余ったサイドリンクをそのまま放置しますと、車両の**フェンダー、ホイール**などを損傷する原因となります。
③装着後、タイヤチェーンがゆるんでいたり、左右に片寄っていますと、走行中コネクタが接地して切れたり変形したりして外れ、車両の**フェンダー、ホイール、タイヤ**などを損傷する原因となりますので、装着し直してください。
④雪や凍結のない道路では、路面の損傷やクロスチェーンの磨耗を防止するためチェーンを取り外して下さい。
⑤タイヤチェーンを正しく装着されませんと偏磨耗によりチェーンが切断したり、コネクタが変形したりして外れ、車両の**フェンダー、ホイール、タイヤ**などを損傷する原因となりますので、正しく装着してください。
⑥タイヤチェーン装着後は縁石や障害物に接触しないように注意して走行して下さい。**タイヤチェーンの切断や破損**の原因となります。

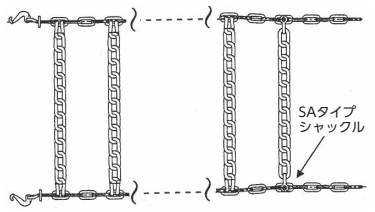
品質には万全を期していますが、万一製造上の原因による品質不良が明らかな場合は、程度に応じて新しい製品と交換するか、不良箇所の部品を供給致しますので、お手数でも下記までご連絡ください。

【製品に関するお問い合わせは】

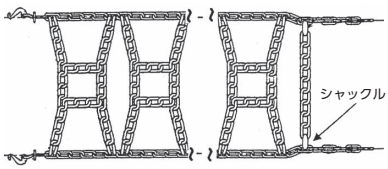
MURAOKA
◆村岡電器産業株式会社　営業部　TEL 03-3626-3201
〔本社〕東京都墨田区業平一丁目2番6号　**FAX 03-3623-1774**

装着するときは

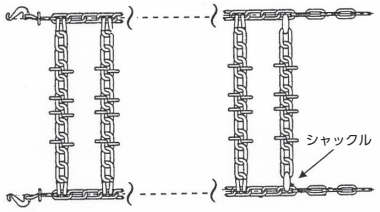
標準型 (Sタイプ最終クロス接続部コネクタ)
(SAタイプ最終クロス接続部シャックル)



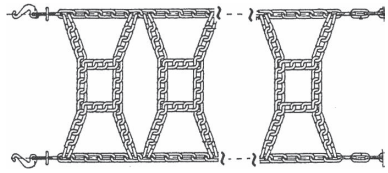
アルダンH型



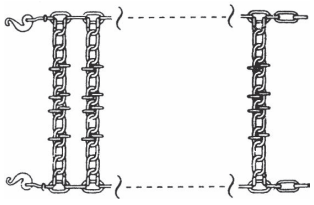
アダックⅠ型



リゲルH型



リゲルⅠ型

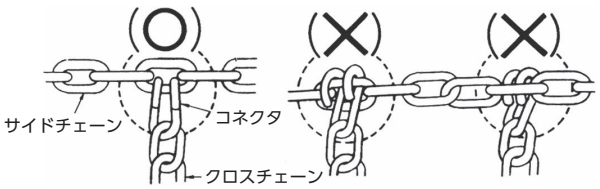


H型クロスチェーン(図HC1)

写真CS1

1．ネジレの確認

タイヤチェーンを、路面に広げてネジレのないことを確かめてください。



2．取 付 方 法

ジャッキ又はクレーンで、車両を持ち上げるか、バケットの先を地面につけて上げるかして、タイヤをうかせると、装着が、容易です。路面にタイヤチェーンを敷き、車両をバックさせ取り付ける場合は、タイヤチェーンのコネクタの向きに注意して下さい〔(図A)参照〕。また最終クロスが移動可能なタイヤチェーン(SAタイプ、アルダンH型、アダックⅠ型)については、コネクタをシャックルに変更してありますので使用前に必ずネジのゆるみがないこと(増し締め)を確認してください。

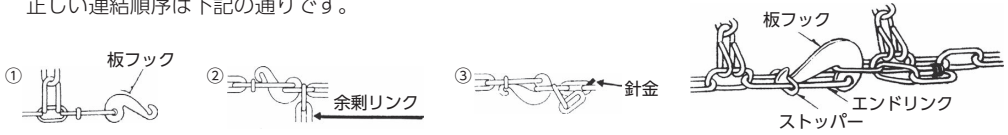
(注)特にH型タイヤチェーンの故障はクロスチェンの磨耗切断がほとんどで、サイドチェーン・コネクタ・フック(3点セット)の故障は極めて稀です。クロスチェーンは走行中、絶えず路面と接触し路面に当たる部分のみ磨耗します。磨耗限度は使用状況により異なります。(図HC1)のEが磨耗した場合、クロスチェーンがタイヤに平均してかぶさっていない。FGが磨耗した場合、クロスがたわんでいる為にリンクが立ったり重なりあって磨耗又は切断する場合です。

H型タイヤチェーンのしめつけ方は、図HC1に示す走行方向維持リンクの長さ(a)より、2つの横クロスの幅(b)が小さくならない範囲にして、走行方向維持リンクをダブツカセないで下さい。

(図A)

3．連 結 方 法

正しい連結順序は下記の通りです。



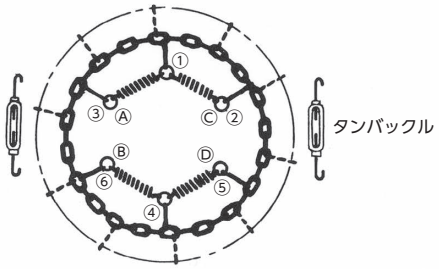
(注)**近年同サイズのタイヤでも、タイヤメーカー或は形状によってタイヤの大きさが異なっております。**ご使用の際は、タイヤチェーンがタイヤにフィットする様に調整して下さい。製品は従来製作した最大のものを出荷しています。

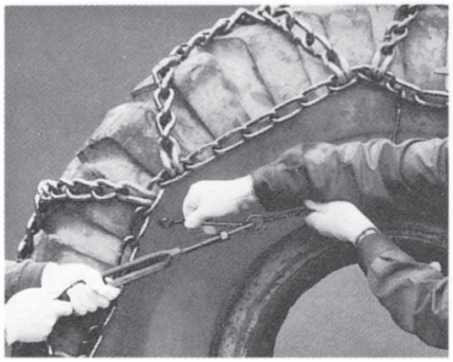
標準型タイヤチェーンMURAOKA規格(SAタイプ)・アルダンH型、アダックI型は、最終クロス部分のコネクタを移動可能なシャックルにかえ、容易に調整できる様にしました。冬用タイヤは、普通タイヤに比べタイヤショルダー部が張っており、接地面が拡大されています。従来の適応タイヤチェーンでは装着不能の場合があります。

4．ゆ る み 止 め

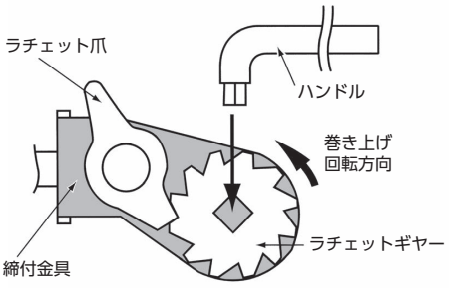
タイヤチェーン装着後にタイヤチェーンがゆるまぬように必ずタンバックル・チェーンバンドもしくは、ワイヤーテンショナー等のゆるみ止めをご使用ください。

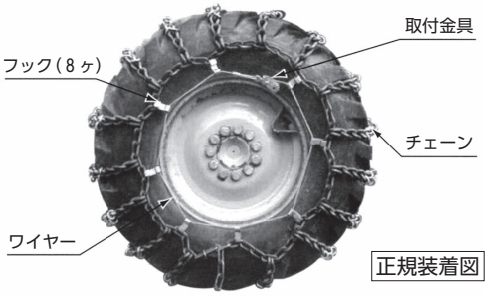
●タンバックル・チェーンバンド





●ワイヤー・テンショナー(ワイヤー・バンド)





正規装着図

ご使用の前に、必ずゆるみどめ附属の取扱説明書をお読みください。

5．クロスチェーンは消耗品で交換設計になっています。

クロスチェーンの補修の時は、当社指定のものをお選びください。
必ず交換用クロスチェーン付属の取扱説明書を読み使用してください。

6．タイヤをいためない為に

タイヤ側に線材の角・コネクタ・フック、シャックル写真CS1の突き出ている部分、等が当たらない様に装着して下さい。